

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 綜研化学株式会社

コード番号 4972 URL <http://www.soken-ce.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 逢坂 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員(経営管理担当) (氏名) 御手洗 寿雄

TEL 03-3983-3268

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,378	△2.4	761	20.3	691	23.0	450	49.3
24年3月期第2四半期	12,678	4.0	633	△46.1	562	△50.3	302	△62.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 464百万円 (46.7%) 24年3月期第2四半期 316百万円 (△52.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	54.43	—
24年3月期第2四半期	36.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	28,824	16,510	55.2
24年3月期	27,758	16,336	56.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,909百万円 24年3月期 15,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	13.9	1,750	66.3	1,600	78.0	900	124.1	108.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	8,300,000 株	24年3月期	8,300,000 株
25年3月期2Q	13,682 株	24年3月期	13,606 株
25年3月期2Q	8,286,374 株	24年3月期2Q	8,286,435 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、国内では景気は緩やかに回復したものの、海外では中国をはじめとするアジアの新興国の景気が減速する等、依然として先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような事業環境のもと、当社グループは、販売拡大と生産効率向上等によるコスト削減に努めるとともに、新製品の開発・販売、新規事業の基盤強化等にも注力してまいりました。

ケミカルズについては、粘着剤関連製品の販売は前年同期の水準を上回りましたが、中国市場における特殊機能材製品、加工製品の販売が低調であったため、売上高は前年同期を下回りました。装置システムについては、工事完成高の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、123億78百万円（前年同期比2.4%減）となりました。利益面では、新規事業の基盤強化等に伴い販売費及び一般管理費は増加したものの、製造原価の低減に努めたことや、原材料価格が前年同期の水準を下回ったこと等から、経常利益は6億91百万円（前年同期比23.0%増）、四半期純利益は4億50百万円（前年同期比49.3%増）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は112億7百万円（前年同期比1.1%減）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、フラットパネル・ディスプレイ関連用途向けの販売数量が増加し、売上高は62億64百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

微粉体製品は、情報記録材用途向けの販売数量が増加し、売上高は10億71百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場における電子材料用途向けの販売数量が減少し、売上高は15億26百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

加工製品は、中国市場における家電用途、電子機器用途向けの機能性粘着テープの販売数量が減少し、売上高は23億44百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

<装置システム>

装置システムは、設備投資の低迷が続く中、前年同期に比べ工事完成高が減少したことにより、売上高は11億71百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて10億66百万円増加し、288億24百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことなどにより、前期末に比べ9億66百万円増加し、154億38百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が減少したものの、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ99百万円増加し、133億85百万円となりました。

一方、負債についてはその他流動負債が減少したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金、賞与引当金、未払法人税等の増加などにより、前期末に比べて8億92百万円増加し、123億13百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金の増加などにより、前期末に比べて1億74百万円増加し165億10百万円となりました。

これらにより、自己資本比率は前期末56.8%から1.6ポイント減少し55.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ1億88百万円増加し、42億14百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、15億50百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益6億83百万円、減価償却費7億84百万円、仕入債務の増加6億29百万円などによる増加と、売上債権の増加3億53百万円、たな卸資産の増加4億16百万円などにより減少した結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、13億35百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得12億94百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、33百万円となりました。

これは、主に短期借入金の増加3億4百万円による増加と、配当金の支払額2億90百万円などの減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,025,330	3,214,341
受取手形及び売掛金	7,009,336	7,393,926
有価証券	999,980	999,958
商品及び製品	2,133,239	2,470,116
仕掛品	39,555	86,776
原材料及び貯蔵品	780,220	827,022
繰延税金資産	157,357	158,937
その他	335,373	295,890
貸倒引当金	△8,327	△8,482
流動資産合計	14,472,067	15,438,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,028,371	11,101,904
減価償却累計額	△4,648,365	△4,889,277
建物及び構築物(純額)	6,380,005	6,212,627
機械装置及び運搬具	12,463,309	12,689,314
減価償却累計額	△9,109,014	△9,578,404
機械装置及び運搬具(純額)	3,354,294	3,110,909
土地	1,164,166	1,167,041
建設仮勘定	238,155	807,628
その他	1,366,434	1,425,325
減価償却累計額	△1,041,680	△1,100,358
その他(純額)	324,754	324,966
有形固定資産合計	11,461,376	11,623,173
無形固定資産		
その他	165,739	180,107
無形固定資産合計	165,739	180,107
投資その他の資産		
投資有価証券	629,332	521,711
関係会社出資金	312,937	337,961
繰延税金資産	522,407	538,035
その他	195,386	186,107
貸倒引当金	△1,180	△1,320
投資その他の資産合計	1,658,884	1,582,495
固定資産合計	13,286,000	13,385,777
資産合計	27,758,067	28,824,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,644,008	5,223,151
短期借入金	1,970,872	2,322,145
未払法人税等	55,789	180,518
賞与引当金	199,317	422,297
完成工事補償引当金	24,600	19,500
工事損失引当金	169	5,403
役員賞与引当金	14,300	16,500
その他	1,463,257	1,117,944
流動負債合計	8,372,314	9,307,460
固定負債		
長期借入金	1,369,900	1,376,800
退職給付引当金	1,315,436	1,319,420
その他	364,010	310,031
固定負債合計	3,049,346	3,006,251
負債合計	11,421,661	12,313,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,816	3,402,816
利益剰余金	9,274,886	9,435,860
自己株式	△10,918	△10,972
株主資本合計	16,028,348	16,189,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,135	31,319
為替換算調整勘定	△383,416	△311,092
その他の包括利益累計額合計	△264,280	△279,772
少数株主持分	572,337	601,056
純資産合計	16,336,405	16,510,552
負債純資産合計	27,758,067	28,824,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	12,678,273	12,378,985
売上原価	9,079,086	8,419,051
売上総利益	3,599,187	3,959,933
販売費及び一般管理費	2,966,179	3,198,491
営業利益	633,007	761,441
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,054	14,313
持分法による投資利益	8,840	17,283
雑収入	60,443	47,710
営業外収益合計	80,338	79,308
営業外費用		
支払利息	52,874	95,291
売上割引	8,562	6,691
為替差損	77,228	33,350
雑損失	12,271	13,478
営業外費用合計	150,937	148,813
経常利益	562,408	691,936
特別利益		
固定資産売却益	1,890	462
特別利益合計	1,890	462
特別損失		
固定資産除却損	29,031	842
投資有価証券評価損	8,473	6,684
その他	—	1,720
特別損失合計	37,505	9,247
税金等調整前四半期純利益	526,793	683,151
法人税等	174,939	214,655
少数株主損益調整前四半期純利益	351,854	468,496
少数株主利益	49,828	17,498
四半期純利益	302,025	450,997

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	351,854	468,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71,899	△87,816
為替換算調整勘定	32,332	80,561
持分法適用会社に対する持分相当額	4,095	2,782
その他の包括利益合計	△35,471	△4,472
四半期包括利益	316,382	464,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,289	435,505
少数株主に係る四半期包括利益	60,093	28,517

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	526,793	683,151
減価償却費	803,020	784,244
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	240	140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△142,387	222,979
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△733	3,984
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	14,600	△5,100
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,400	2,200
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△127	5,233
受取利息及び受取配当金	△11,054	△14,313
支払利息	52,874	95,291
為替差損益 (△は益)	45,893	19,815
補助金収入	△29,135	△5,698
固定資産除却損	29,031	842
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,890	△462
投資有価証券評価損益 (△は益)	8,473	6,684
持分法による投資損益 (△は益)	△8,840	△17,283
売上債権の増減額 (△は増加)	174,758	△353,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	△301,168	629,038
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△228,416	△416,725
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,547	12,781
その他	△40,126	51,088
小計	894,951	1,704,228
利息及び配当金の受取額	15,511	14,316
補助金の受取額	29,135	5,698
利息の支払額	△54,957	△95,352
法人税等の支払額	△240,479	△78,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	644,161	1,550,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△784,472	△1,294,048
有形固定資産の売却による収入	1,890	1,239
無形固定資産の取得による支出	△32,929	△38,781
投資有価証券の取得による支出	△6,569	△6,787
保険積立金の解約による収入	58,805	—
その他	4,120	2,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△759,154	△1,335,834

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	755,115	304,348
長期借入れによる収入	124,600	—
長期借入金の返済による支出	△498,204	—
社債の償還による支出	△165,000	—
リース債務の返済による支出	—	△37,251
自己株式の取得による支出	—	△54
配当金の支払額	△288,873	△290,489
少数株主への配当金の支払額	△68,636	△9,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,998	△33,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,964	7,131
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△295,955	188,988
現金及び現金同等物の期首残高	3,253,788	4,025,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,957,833	4,214,299

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,327,296	1,350,977	12,678,273	—	12,678,273
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,244	11,179	17,423	△17,423	—
計	11,333,540	1,362,156	12,695,696	△17,423	12,678,273
セグメント利益	566,321	27,863	594,184	38,823	633,007

(注) 1. セグメント利益の調整額38,823千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,207,357	1,171,627	12,378,985	—	12,378,985
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,534	2,758	12,292	△12,292	—
計	11,216,892	1,174,385	12,391,277	△12,292	12,378,985
セグメント利益又は損失(△)	744,944	△20,824	724,120	37,321	761,441

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額37,321千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。